

研修仕様書

研 修 科 目	(区分 A) 第 10 回市バス運転士セミナー
研 修 の 目 的	「すべてのお客様に信頼される安全の追及」及び「全国一のお客様サービスの実践」に向け、市バス運転士に対し、事故防止とお客様サービスの研修を実施し、運転技術とお客様サービスの更なる向上を図る。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全運転に対する意識の向上 ・ 運転個癖の把握と改善 ・ プロドライバーとしての意識の向上 ・ 全国一のお客様サービスを実践できる職員の育成
受 講 対 象 者	採用後 4 年目以降の市バス運転士(指導運転士及び 61 歳以上の運転士除く)
受 講 予 定 人 数	1 日当たり 4 人
研修時間・回数	1 日当たり 6.5 時間 60 回 (予定)
研修実施予定時期	令和 8 年 5 月から令和 9 年 3 月 (予定)
研修実施場所	京都市交通局研修所及び市内路上
研 修 方 法	講義及び実車(市バス)での体験実習(運転技能自動評価システムなど受診)
研 修 内 容	<p>◆ 机上研修 危険予測と危険回避について、安全空間の重要性 アンガーマネジメント等について 運転技能自動評価システム受診結果から得た運転個癖の把握と改善策 ヒューマンエラーと事故防止</p> <p>◆ 体験実習 実車(市バス)研修(市内路上) 基本の運転姿勢、基本操作の確認 運転操作についての助言 運転技能自動評価システムなど受診</p> <p>※ 1 日のタイムスケジュールは(別紙 1)参照</p>
上 限 金 額	1 日当たり 77,000 円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代務者を設定するなどの対策を講じること。

- 体験学習には、接遇講師(委託)及び交通局職員も同乗します。
- 上限金額は、講師料、交通費、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-1)

(区分A) 第10回市バス運転士セミナータイムスケジュール				
時間		項目		担当
8:45 ～ 8:55	10分間	オリエンテーション		交通局
※ 8:55 ～ 9:50	55分間	講義	事故防止	提案者
10:00 ～ 10:50	50分間	講義	乗客接遇	接遇講師(外部講師)
※ 11:00 ～ 13:00	120分間	実習	コース走行	提案者 交通局職員、接遇講師(委託)同乗
休憩				
14:00 ～ 14:40	40分間	講義	乗客接遇	接遇講師 (外部講師)
※ 14:50 ～ 16:50	120分間	講義	事故防止	提案者
17:00 ～ 17:20	20分間	講義	服務 公務員倫理	交通局
17:20 ～ 17:30	10分間	まとめ		交通局

※印の時間を企画、担当していただきます。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分 B) 3 年目市バス運転士セミナー
研 修 の 目 的	「すべてのお客様に信頼される安全の追及」及び「全国一のお客様サービスの実践」に向け、採用後 3 年目の市バス運転士に対し、徹底した事故防止対策とお客様サービスの向上を目的とした研修を実施することにより、職員としての自覚を再認識させるとともに、自動車事業に対するより積極的かつ能動的な取組意欲を喚起する。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全運転に対する意識の向上 ・ 運転個癖の把握と改善 ・ プロドライバーとしての意識の向上 ・ 全国一のお客様サービスを実践できる職員の育成
受 講 対 象 者	採用後 3 年目の市バス運転士
受 講 予 定 人 数	1 日当たり 5 人
研修時間・回数	1 日当たり 6. 5 時間 1 3 回 (予定)
研修実施予定時期	令和 8 年 5 月から令和 9 年 3 月 (予定)
研修実施場所	京都市交通局研修所及び市内路上
研 修 方 法	講義及び実車 (市バス) での体験実習 (運転技能自動評価システムなど受診)
研 修 内 容	<p>◆ 机上研修</p> <p>3 年目の総括と今後の課題</p> <p>危険予測と危険回避について、安全空間の重要性</p> <p>アンガーマネジメント等について</p> <p>運転自動評価システム受診結果から得た運転個癖の把握と改善策</p> <p>ヒューマンエラーと事故防止</p> <p>◆ 体験実習 実車 (市バス) 研修 (市内路上)</p> <p>基本の運転姿勢、運転操作の確認</p> <p>運転操作についての助言</p> <p>運転技能自動評価システムなど受診</p> <p>※ 1 日のタイムスケジュールは (別紙 2) 参照</p>
上 限 金 額	1 日当たり 7 7, 0 0 0 円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代務者を設定するなどの対策を講じること。

- 体験学習には、接遇講師 (委託) 及び交通局職員も同乗します。
- 上限金額は、講師料、交通費、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-2)

(区分B) 3年目市バス運転士セミナータイムスケジュール				
時間		項目		担当
8:45 ～ 8:55	10分間	オリエンテーション		交通局
※ 8:55 ～ 9:40	45分間	講義	事故防止	提案者
※ 9:50 ～ 12:50	180分間	実習	コース走行	提案者 交通局職員、接遇講師(委託)同乗
休憩				
13:50 ～ 15:30	100分間	講義	乗客接遇	接遇講師 (外部講師)
※ 15:40 ～ 16:50	70分間	講義	事故防止	提案者
17:00 ～ 17:20	20分間	講義	サービス 公務員倫理	交通局
17:20 ～ 17:30	10分間	まとめ		交通局

※印の時間を企画、担当していただきます。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分C) 2年目市バス運転士セミナー
研 修 の 目 的	「すべてのお客様に信頼される安全の追及」及び「全国一のお客様サービスの実践」に向け、採用後2年目の市バス運転士に対し、運転技術とお客様サービスの更なる向上を図る。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全運転に対する意識の向上 ・ 運転個癖の把握と改善 ・ プロドライバーとしての意識の向上 ・ 全国一のお客様サービスを実践できる職員の育成
受 講 対 象 者	採用後2年目の市バス運転士
受 講 予 定 人 数	1日当たり5人
研修時間・回数	1日当たり6.5時間 12回(予定)
研修実施予定時期	令和8年5月から令和9年3月(予定)
研修実施場所	京都市交通局研修所及び京都競馬場駐車場
研 修 方 法	講義及び実車(市バス)での体験実習(運転技能自動評価システムなど受診)
研 修 内 容	<p>◆ 机上研修 2年間の知識や運転振りについて現状把握と課題 危険予測と危険回避について アンガーマネジメント等について 運転自動評価システム受診結果から得た運転個癖の把握と改善策 ヒューマンエラーと事故防止</p> <p>◆ 体験実習 実車(市バス)研修(京都競馬場駐車場) 基本の運転姿勢、運転操作の確認 的確な運転操作のための運転訓練(狭路走行、枠内転回、スラローム等) 運転技能自動評価システムなど受診</p> <p>※ 1日のタイムスケジュールは(別紙3)参照</p>
上 限 金 額	1日当たり88,000円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代務者を設定するなどの対策を講じること。

- 体験学習には、接遇講師(委託)及び交通局職員も同乗します。
- 上限金額は、講師料、交通費、資料代、体験実習でのコース設置料、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-3)

(区分C) 2年目市バス運転士セミナータイムスケジュール				
時間		項目		担当
8:45 ? 8:55	10分間	オリエンテーション		交通局
※ 8:55 ? 10:00	65分間	講義	事故防止	提案者
10:10 ? 11:00	50分間	講義	乗客接遇	接遇講師 (外部講師)
休憩				
※ 12:00 ? 16:00	240分間	実習	コース走行	提案者 交通局職員、接遇講師(委託)同乗
※ 16:10 ? 17:00	50分間	講義	事故防止	提案者
17:00 ? 17:20	20分間	講義	サービス 公務員倫理	交通局
17:20 ? 17:30	10分間	まとめ		交通局

※印の時間を企画、担当していただきます。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分D) 1年目市バス運転士セミナー
研 修 の 目 的	「すべてのお客様に信頼される安全の追及」及び「全国一のお客様サービスの実践」に向け、採用後1年目の市バス運転士に対し基本操作の再確認及び公務員としての意識の徹底を図る。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本操作の再確認 ・ 安全運転に対する意識の向上 ・ 運転技術の更なる向上 ・ プロドライバーとしての意識の向上
受 講 対 象 者	採用後1年目の市バス運転士
受 講 予 定 人 数	1日当たり6人
研修時間・回数	1日当たり6.5時間 16回(予定)
研修実施予定時期	令和8年5月から令和9年3月(予定)
研修実施場所	京都市交通局研修所及び市内路上
研 修 方 法	講義及び実車(市バス)での体験実習(運転技能自動評価システムなど受診)
研 修 内 容	<p>◆ 机上研修 交通ルール、規程を遵守することの重要性 ヒヤリハット体験の有効的な活用法 ヒューマンエラーと事故防止 運転自動評価システム受診結果から得た運転個癖の把握と改善策</p> <p>◆ 体験実習 実車(市バス)研修(市内路上) 基本の運転姿勢、運転操作の確認 的確な運転操作のための運転訓練(車両特性把握等) 運転技能自動評価システムなど受診</p> <p>※ 1日のタイムスケジュールは(別紙4)参照</p>
上 限 金 額	1日当たり77,000円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代務者を設定するなどの対策を講じること。

- 体験学習には、接遇講師(委託)及び交通局職員も同乗します。
- 上限金額は、講師料、交通費、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-4)

(区分D) 1年目市バス運転士セミナータイムスケジュール				
時間		項目		担当
8:45 ～ 8:55	10分間	オリエンテーション		交通局
※ 8:55 ～ 10:20	85分間	講義	事故防止	提案者
※ 10:30 ～ 12:00	90分間	実習	コース走行	提案者(注)
休憩				
※ 13:00 ～ 14:30	90分間	実習	コース走行	提案者(注)
※ 14:40 ～ 16:40	60分間	講義	事故防止	提案者
16:50 ～ 17:20	30分間	講義	サービス 公務員倫理	交通局
17:20 ～ 17:30	10分間	まとめ		交通局

(注)受講者を実技と接客(机上)の2班(1班3人)に分けて実施するため内容は同じ

※印の時間を企画、担当していただきます。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分 E) シニアドライバーセミナー
研 修 の 目 的	「すべてのお客様に信頼される安全の追及」及び「全国一のお客様サービスの実践」に向け、61歳到達年度以降の市バス運転士に対し、運転技術とお客様接遇の再徹底を図るとともに、シニアドライバーの特性や注意事項等について認識を深める研修を実施する。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 安全運転に対する意識の再考 ・ 運転個癖の把握と改善 ・ プロドライバーとしての意識の再考
受 講 対 象 者	61歳到達年度及び63歳到達年度の市バス運転士（暫定再任用職員、会計年度職員含む）
受 講 予 定 人 数	1日当たり5人
研修時間・回数	1日当たり6.5時間 6回（予定）
研修実施予定時期	令和8年5月から令和9年3月（予定）
研修実施場所	京都市交通局研修所及び京都競馬場駐車場
研 修 方 法	講義及び実車（市バス）での体験実習（運転技能自動評価システムなど受診）
研 修 内 容	<p>◆ 机上研修 安全・安心・快適な運転に必要な知識 的確な判断のための知識と反応力 加齢及び長い運転経験が業務に及ぼす影響 ベテラン運転士の役割</p> <p>◆ 体験実習 実車（市バス）研修（京都競馬場駐車場） 基本の運転姿勢、運転操作の確認 危険回避トレーニング 的確な運転操作のために運転訓練（狭路走行、枠内転回、スラローム等） 運転技能自動評価システムなど受診</p> <p>※ 1日のタイムスケジュールは(別紙5)参照</p>
上 限 金 額	1日当たり88,000円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代替者を設定するなどの対策を講じること。

○ 体験学習には、接遇講師（委託）及び交通局職員も同乗します。

○ 上限金額は、講師料、交通費、資料代、体験実習でのコース設置料、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-5)

(区分E) シニアドライバーセミナータイムスケジュール				
時間		項目		担当
8:45 ～ 8:55	10分間	オリエンテーション		交通局
※ 8:55 ～ 10:00	65分間	講義	事故防止	提案者
10:10 ～ 11:00	50分間	講義	乗客接遇	接遇講師 (外部講師)
休憩				
※ 12:00 ～ 16:00	240分間	実習	コース走行	提案者 交通局職員、接遇講師(委託)同乗
※ 16:10 ～ 17:00	50分間	講義	事故防止	提案者
17:00 ～ 17:20	20分間	講義	服務 公務員倫理	交通局
17:20 ～ 17:30	10分間	まとめ		交通局

研修仕様書

研 修 科 目	(区分 F) 指導運転士セミナー
研 修 の 目 的	指導運転士が、新規採用市バス運転士研修生（以下、「研修生」という。）に対して、より効果的な指導・育成ができるように、指導方法やコミュニケーションスキルの向上を図る。また、指導運転士間で指導内容や評価基準のばらつきをなくし、指導内容の平準化に繋げる。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導者としての役割の理解 ・ コーチング等教育手法の向上 ・ コミュニケーションスキルの向上
受 講 対 象 者	指導運転士
受 講 予 定 人 数	1 日当たり 5 人
研修時間・回数	1 日当たり 6. 5 時間 6 回（予定）
研修実施予定時期	令和 8 年 5 月から令和 9 年 3 月（予定）
研修実施場所	京都市交通局研修所及び京都競馬場駐車場
研 修 方 法	講義及び実車（市バス）での体験実習（運転技能自動評価システムなど受診）
研 修 内 容	<p>◆ 机上研修 指導者としての心構え コーチングなどの教育方法について コミュニケーションスキルを高めるための手法</p> <p>◆ 体験実習 実車（市バス）研修（京都競馬場駐車場） 指導内容の再確認（運転姿勢・扉操作・車内アナウンス） 指導のポイントと添乗中の適切な伝え方</p> <p>※ 1 日のタイムスケジュールは（別紙 6）参照</p>
上 限 金 額	1 日当たり 8 8, 0 0 0 円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代務者を設定するなどの対策を講じること。

- 体験学習には、接遇講師（委託）及び交通局職員も同乗します。
- 上限金額は、講師料、交通費、資料代、体験実習でのコース設置料、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-6)

(区分F) 指導運転士セミナータイムスケジュール				
時間		項目		担当
8:45 ～ 8:55	10分間	オリエンテーション		交通局
※ 8:55 ～ 11:00	125分間	講義	コーチング術	提案者
休憩				
※ 12:00 ～ 15:50	230分間	実習	コース走行	提案者 交通局職員同乗
※ 16:00 ～ 17:00	60分間	講義	コーチング術	提案者
17:00 ～ 17:20	20分間	講義	服務 公務員倫理	交通局
17:20 ～ 17:30	10分間	まとめ		交通局

※印の時間を企画、担当していただきます。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分 G) 新規採用市バス運転士派遣研修
研 修 の 目 的	新規採用市バス運転士研修（以下「新採研修」という。）の乗務練習期間中、研修生に対して研修所職員による指導に加え、より専門的な見地から、安全運行の確保における基本的な技術・技能・知識の習得を目指し、交通教育の専門家が在籍する民間の研修施設へ派遣して実施する。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 基本の運転姿勢の習得 ・ 死角、内輪差、リアオーバーハング、発進時の車両特性などの理解 ・ 危険予測の精度・危険への対応力を高める ・ 注意喚起の必要性
受 講 対 象 者	契約年度中に採用された市バス運転士研修生（以下「研修生」という。）
受 講 予 定 人 数	・ 1日当たり16人以下
研修時間・回数	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1日当たり7.0時間 ・ 年間12回（予定） ※採用計画の状況により変動する場合があります。
研修実施予定時期	令和8年4月1日～令和9年3月末日 ※採用計画の状況により変動する場合があります。
研修実施場所	契約事業者施設（派遣）
研 修 方 法	実車での体験実習
研 修 内 容	新採研修中に、基本的な技術・技能・知識などの習得を目指し、契約事業者の施設に研修生を派遣する。 ◆ 体験実習 実車研修（契約事業者施設） 基本の運転姿勢、運転操作の確認 的確な運転操作のために運転訓練 ドア開閉時のアナウンスと安全確認 発進停車、右左折時の注意喚起の徹底 リアオーバーハングの意識付け
上 限 金 額	1日当たり291,500円
補 足 事 項	最寄り駅から、契約事業者施設までの送迎

○ 上限金額は、施設利用料、研修車両使用料、講師料、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分H) 指導運転士派遣研修 (コーチングコース)
研 修 の 目 的	市バス運転士に対する指導者としての、教育・指導のあり方を交通教育の専門家から学ぶことで、指導者としての基礎知識を習得し、指導内容の向上を図る。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指導対象運転士の運転スキルと安全意識向上のための、理論に基づいた指導方法について理解を深める。 ・ 個人差に応じた効果的な指導方法を学び指導の幅を広げる。
受 講 対 象 者	指導運転士
受 講 予 定 人 数	1 日 当 たり 1 2 人
研修時間・回数	1 日 当 たり 7 . 0 時 間 年 間 2 回 (予 定)
研修実施予定時期	令和 8 年 5 月 から 令 和 9 年 3 月 (予 定)
研修実施場所	契約事業者施設 (派遣)
研 修 方 法	講義及び実車での体験実習
研 修 内 容	<p>指導運転士を契約事業者施設に派遣して実施</p> <p>◆ 机上研修 ティーチング技法、コーチング技法</p> <p>◆ 体験実習 実車研修 (契約事業者施設) 基本の運転姿勢、運転操作の確認 コーチング実習</p>
上 限 金 額	1 日 当 たり 2 9 1 , 5 0 0 円
補 足 事 項	最寄り駅から、契約事業者施設までの送迎

○ 上限金額は、施設利用料、研修車両使用料、講師料、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分Ⅰ) 指導者向け派遣研修（コーチングコース）
研 修 の 目 的	新規採用市バス運転士に対する指導者としての教育・指導のあり方を交通教育の専門家から学ぶことで、指導者としての基礎知識を習得し、指導内容の向上を図る。
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・ 新規採用市バス運転士の運転スキルと安全意識向上のための、理論に基づいた指導方法について理解を深める。 ・ 個人差に応じた効果的な指導方法を学び指導の幅を広げる。
受 講 対 象 者	新規採用市バス運転士等の教育担当者
受 講 予 定 人 数	1 日 当 たり 1 2 人
研修時間・回数	1 日 当 たり 7 . 0 時 間 年 間 1 回（予定）
研修実施予定時期	令和 8 年 5 月 から 令 和 9 年 3 月（予定）
研修実施場所	契約事業者施設（派遣）
研 修 方 法	講義及び実車での体験実習
研 修 内 容	<p>新規採用市バス運転士等の教育担当者を契約事業者施設に派遣して実施</p> <p>◆ 机上研修 人材育成のためのコーチング術 新規採用市バス運転士等を育成するためのコーチング理論</p> <p>◆ 体験実習 実車研修（契約事業者施設） コーチング理論に基づいてロールプレイを行い、その体験で得られたことから、指導方法について再考する。</p>
上 限 金 額	1 日 当 たり 2 9 1 , 5 0 0 円
補 足 事 項	最寄り駅から、契約事業者施設までの送迎

○ 上限金額は、施設利用料、研修車両使用料、講師料、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

研 修 科 目	(区分 J) 自動車部運行管理者研修
研 修 の 目 的	<p>運行管理者が果たすべき役割と責務の再考。運行管理者に必要な指導力、及び知識の向上を図る。</p> <p>また、研修所が実施する市バス運転士を対象とした研修（以下「各種セミナー」という。）の教示内容について理解する。</p>
科目の到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 令和 8 年度に実施する各種セミナーの教示内容の理解。 運行管理者が果たすべき役割と責務の再考。
受 講 対 象 者	運行管理者及び運行管理補助者
受 講 予 定 人 数	1 日当たり 2 0 人程度
研修時間・回数	1 日当たり 7. 0 時間 3 回（予定）
研修実施予定時期	令和 8 年 5 月
研修実施場所	京都市交通局（サンサ右京）
研 修 方 法	机上研修
研 修 内 容	<p>◆ 令和 8 年度市バス運転士を対象とした各種セミナーの解説。</p> <p>◆ 運行管理者が果たすべき役割と責務の再考。運行管理者に必要な指導力、及び知識の向上を図る。</p> <p>※ 1 日のタイムスケジュールは(別紙 7) 参照</p>
上 限 金 額	1 日当たり 4 4, 0 0 0 円
補 足 事 項	やむを得ない理由により、研修実施日に担当講師が出席できない場合に備え、予め代務者を設定するなどの対策を講じること。

○ 上限金額は、講師料、資料代、税等を含む総額とします。

研修仕様書

(別紙-7)

(区分J) 運行管理者研修タイムスケジュール			
時間		項目	担当
9:00 ～ 9:10	10分間	開講の挨拶	交通局
9:10 ～ 9:30	20分間	講義	交通局
9:40 ～ 10:10	30分間	講義	交通局
10:20 ～ 10:50	30分間	講義	交通局
※ 11:00 ～ 12:00	60分間	令和8年度各種セミナーの実施内容について	提案者
休憩			
※ 13:00 ～ 16:00	180分間	道路交通法について 運行管理者の心構え	提案者
16:10 ～ 17:10	60分間	講義	交通局
17:10 ～ 17:30	20分間	講義	交通局

※印の時間を企画、担当していただきます。